

<申込用紙>

(申込先) 兵庫県企画県民部県民生活課ふるさと交流班 あて
 FAX: 078-362-3908
 (メール・郵送による申込先は、【申込先・問い合わせ先】参照)

① 参加者氏名・年齢	(ふりがな)	年齢
② 住所 (市町までで結構です)	市・町	歳代
③ 所属団体・役職 (あれば、お書きください)	(xx 協議会、NPO 法人 xx、xx 県民交流広場、xx 市など)	
④ 電話番号		
⑤ メールアドレス		
⑥ テーマ 関心のあるテーマを3つ 選び、順位をつけてくだ さい。	テーマ	順位
	① 地域資源を活かした活動の展開 “鎧かぶとにハマっています”	
	② 地域間交流による賑わいづくり “わがまちのファンを増やしたい”	
	③ 大学生と取り組む地域の活性化 “若者と一緒にチャレンジ”	
	④ 活動の担い手の輪を広げる “人材見つけて、臆さずスカウト”	
	⑤ 地域内の他団体との連携・協働 “お仲間を増やしてパワーアップ”	
⑦ ポスター・パネル展示、 チラシ設置希望 ※会場内に、地域活動をPR するためにポスター・パネル の掲示やチラシを設置 することができます。 当日、持参ください。	<input type="checkbox"/> 希望します ※ポスターやパネル、チラシの枚数や大きさを 教えてください。 [] <input type="checkbox"/> 希望しません	
⑧ 情報交換会の参加 (18時開始、会費制 [3,000円])	参加します	参加しません

※定員になり次第締め切ります。また、多くの地域の方に参加いただきたいため、1団体あたりの参加人数を制限させていただく場合があります。参加できない場合のみご連絡を差し上げます。
 ※当日の様子を写真撮影し、県民交流広場ホームページに掲載する場合があります。不都合な方は、当日、スタッフまでご連絡ください。
 ※お伝えいただいた情報は、当交流会(次年度開催する場合の案内を含む)以外には使用しません。

今年もやります!

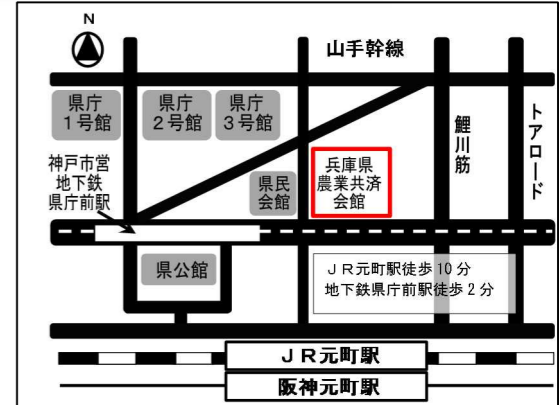
ふるさと交流会 2017

参加者募集!

参加費無料

地域の悩みや課題について、みんなで知恵を出し合い、話しましょう。

- 開催日時** 平成29年8月30日(水) 13時30分～17時00分
- 場所** 兵庫県農業共済会館 大会議室
(神戸市中央区下山手通4丁目15-3)
- 定員** 80名
地域活動に取り組む方、関心がある方、ぜひご参加ください。
- 申込方法** 申込用紙をご記入の上、Fax、郵送、メールのいずれかにより、8月18日(金)までにお申し込み下さい。【先着順】
- 内容** 5つのテーマに分かれ、事例報告、グループセッションを行います。その後、全体で意見交換します。
(事例報告地区は裏面参照)



テーマ

- ① 地域資源を活かした活動の展開「鎧かぶとにハマっています」
- ② 地域間交流による賑わいづくり「わがまちのファンを増やしたい」
- ③ 大学生と取り組む地域の活性化「若者と一緒にチャレンジ」
- ④ 活動の担い手の輪を広げる「人材見つけて、臆さずスカウト」
- ⑤ 地域内の他団体との連携・協働「お仲間を増やしてパワーアップ」

新たなネットワーク構築のきっかけを作ろう

地域活動の「知見」や「ノウハウ」を持って帰ろう

スケジュール

- 13:30 開会
- 13:40 事例報告、グループセッション、発表、全体意見交換
- 17:00 閉会

好評につき今年も開催

情報交換会

(事前申込制・申込用紙に記入欄あり)
 交流会終了後、参加者同士の交流を深めていただく集いを開催します。是非ご参加ください。
 時間: 18時～(20時終了予定)
 会費: 3,000円

モチベーションを上げて帰ろう

昨年の参加者の声(参加者アンケートより)

- ・全体的に雰囲気もよく、参加してよかったと思える会でした(広場関係者)
- ・地域活動の本音と行政の本音を聞くことができ、大変、興味深い時間でした。ある意味、予想を良い意味で裏切られた感があります(NPO関係者)
- ・小人数で話し合いだったので、くわしく出席者の説明が聞けてよかった(広場関係者、地域活動関係者)
- ・いろんな立場の方との話し合いは、いろんな考え方を聞けて参考になる(地域活動関係者)
- ・新たなネットワークが生まれそう(地域活動関係者)
- ・市を越えて、地域づくり、まちづくりを担っている方々の話を聞くことが出来た。こういった機会はなかなかないので、貴重な場だったと思います(広場関係者)

昨年の様子はこちら→http://www.hyogo.kouryu-hiroba.jp/00_news.html#event_frst2016

満足度 98%

【主催】

県民交流広場全県連絡協議会、兵庫県

【協力】

県内を中心に地域活動に取り組む大学生がグループセッションの進行役を務めます

【申込先・問い合わせ先】

兵庫県 企画県民部 県民生活課 ふるさと交流班
 〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1
 TEL:078-362-4000 FAX:078-362-3908
 Eメールアドレス: hiroba@pref.hyogo.lg.jp

ふるさと交流会2017 5つのテーマ

- ・事例報告、グループセッションは、5つのテーマに分かれて実施します
- ・始まりは、テーマに沿った活動を実践されている地域からの事例報告です
- ・その後は、みんなでワイワイガヤガヤ楽しくセッションしましょう!!

※参加申込時に3つのテーマを選び、順位をつけていただきますが、当日、1位のテーマの席とならない場合があります。



鎧かぶとにハマっています

①地域資源を活かした活動の展開

このような方におすすめ!

例えば...

- ・わが町にも何か自慢できるものがほしい
- ・どうやって、地域資源ってみつけるの?
- ・うちの地域は、〇〇でつながっているよ

【事例報告】赤松地区むらづくり推進委員会 (上郡町赤松地区)

・古くからの歴史を誇る自然豊かな地域。ただ、近年は一部地区の限界集落化や、高齢者の孤立、子育ての不安が危惧されている

・赤松円心や大鳥圭介など郷土の偉人や歴史に着目した活性化策に取り組み、アニメ制作や関連イベントを実施

・中でも、鎧かぶとの手作り教室は、素晴らしい出来映えで大人気。神戸まつりでは、自前の鎧をまとった赤松地区の行列が注目の的となった



神戸まつりでの武者行列

わがまちのファンを増やしたい

②地域間交流による賑わいづくり

このような方におすすめ!

例えば...

- ・都市部との交流って.....
- ・何のために交流するの?
- ・相手との温度差ってないの?

【事例報告】与布土地域自治協議会 (朝来市与布土地区)

・古くから農業が盛んな地域。若い世代は卒業とともに地域を離れ、人口減少、高齢化が進むなど課題を抱える

・都市部の地域や企業と、田植えや稲刈りなどの農業体験、地区運動会や祭りなどを通じて交流。来てくれた子ども達の笑顔が何よりの励みである

・一見、順風満帆な交流活動のようであるが、時に団体間の思いの違いを感じることもあり、試行錯誤しつつ取り組んでいる



交流事業 (農業体験)

若者と一緒にチャレンジ

③大学生と取り組む地域の活性化

このような方におすすめ!

例えば...

- ・学生さんと一緒に活動してみたい
- ・若い力を地域に取り込んでいきたい
- ・他所の学生さんと組んだら、なにができるの?

【事例報告】久下自治振興会(丹波市久下地区) ミライの輪(神戸親和女子大学)

・県内の女子大学生で構成された「ミライの輪」と連携して地域活性化に取り組む

・学生には①特産物の小豆の種蒔き等の農作業、②収穫した小豆を使った餅つき大会、③小学生と一緒に地域をネタにしたカルタづくり等々、様々な活動に取り組んでもらっている

・学生が企画した「久下フェスタ」は、踊りや演奏、写真撮影会などで大いに賑わい、皆が楽しんだ



久下フェスタ

人材見つけて、臆さずスカウト

④活動の担い手の輪を広げる

このような方におすすめ!

例えば...

- ・どうやって、地域活動を手伝ってくれる人を探すの?
- ・私の地域は、〇〇で協力者を増やしているよ

【事例報告】なんなんまちづくりの会 (稲美町天満南地区)

・県補助金と町の協力を得て、現役小学校の余裕教室を、「フリースペース(貸室)」や「ふれあい喫茶」に改修。地域の人がいつでも気軽に集える空間を提供している

・利用率は高く活気もあるが、運営面では、活動の担い手確保や後継者の育成といった点で不安もある

・貸室利用団体や、任期満了後の役員にも継続しての活動参加を呼びかけ、担い手の輪を広げようと頑張っている



余裕教室の活用(ふれあい教室)

①赤松地区
むらづくり
推進委員会

②与布土
地域自治協議会

③久下自治振興会
ミライの輪

④なんなんまちづくりの会

⑤園田北まちづくり協議会

お仲間を増やしてパワーアップ

⑤地域内の他団体との連携・協働

このような方におすすめ!

例えば...

- ・団体同士が手をつないだら何ができるの?
- ・他団体と連携するには、どう持ちかけたらいいの?
- ・学校と一緒に何かやりたいんだけど.....

【事例報告】園田北まちづくり協議会 (尼崎市園田北地区)

・駅エレベータ設置や万葉の森の再生、人気アニメの聖地で子どもたちが修行を行う忍者学校の開設など住民の力で多くの成果をあげてきた

・少子高齢化や防災、環境など多様な課題解決には、地域団体が連携してのまちづくりが重要になるとの思いから、今年6月、地域内の主たる団体がそろって参画する園田北まちづくり協議会を設立

・誰もが安心して幸せに暮らせる地域づくりを目指す



猪名寺忍者学校